

令和 6 年度住民意識調査結果について

目的

まちづくりに関する町民の皆様の評価や意識等を統計的に把握し、町政運営の指針となる総合計画をはじめ、各種施策を着実に推進していくための基礎資料として活用すること。

調査概要

	今回（令和6年度）	前回（令和元年度）
調査地域	町内全域	町内全域
調査対象	町内在住の満18歳以上の男女 無作為抽出	町内在住の満18歳以上の男女 無作為抽出
対象人数	2,000人	3,000人
調査方法	郵送による配票、回収	郵送による配票、回収
調査期間	令和6年9月6日～30日	令和元年6月10日～7月1日
回答方法	返信用封筒による郵送 + <u>Web</u>	返信用封筒による郵送
目標回収数・率	800人・40.0%	
回収結果	<u>825人・41.3%</u> （うちweb 196人）	1,193人・39.8%

調査項目

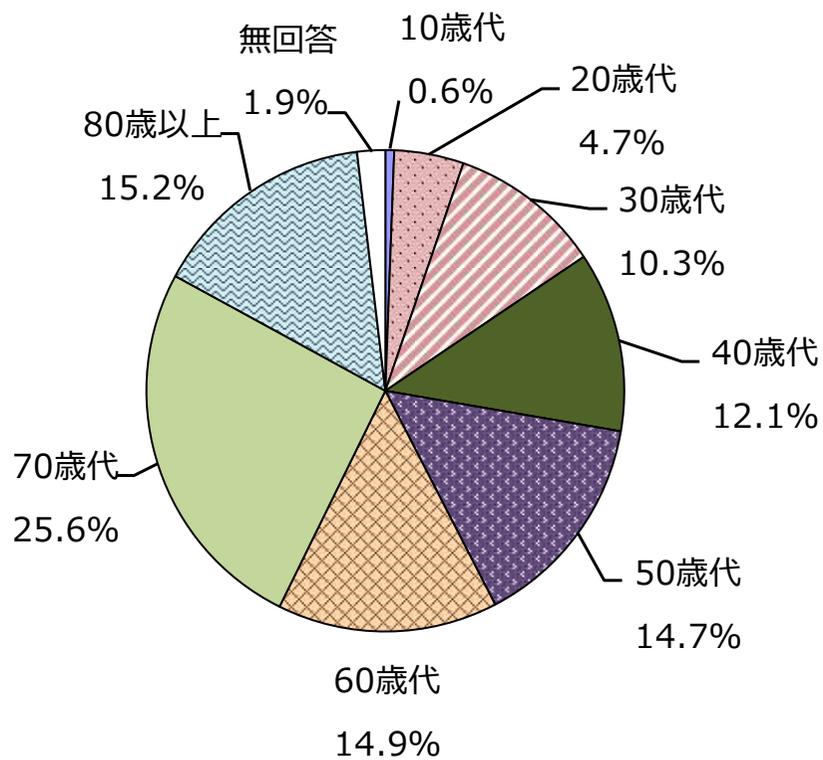
主な調査項目	意図等
町の住みやすさ	まちづくりの評価、今後の施策検討
今後の定住意向	
まちづくりに対する満足度と重要度	
公共施設の利用頻度と満足度	施設マネジメント、指定管理の導入効果検証
都市開発のあり方	土地利用に対する市民の意向確認
農地保全のあり方	農地保全に対する市民の意向確認
今後活用すべき資源	今後の施策検討、町の魅力推進
今後の行政サービスのあり方	公共改革（公共の担い手）の考え方
目指すべきまちづくりの方向性	市民が期待する将来の町のイメージ
町に関する情報の入手先	市民との情報共有の推進
自由回答（記述式）	市民の自由意見、提案の収集

調查結果

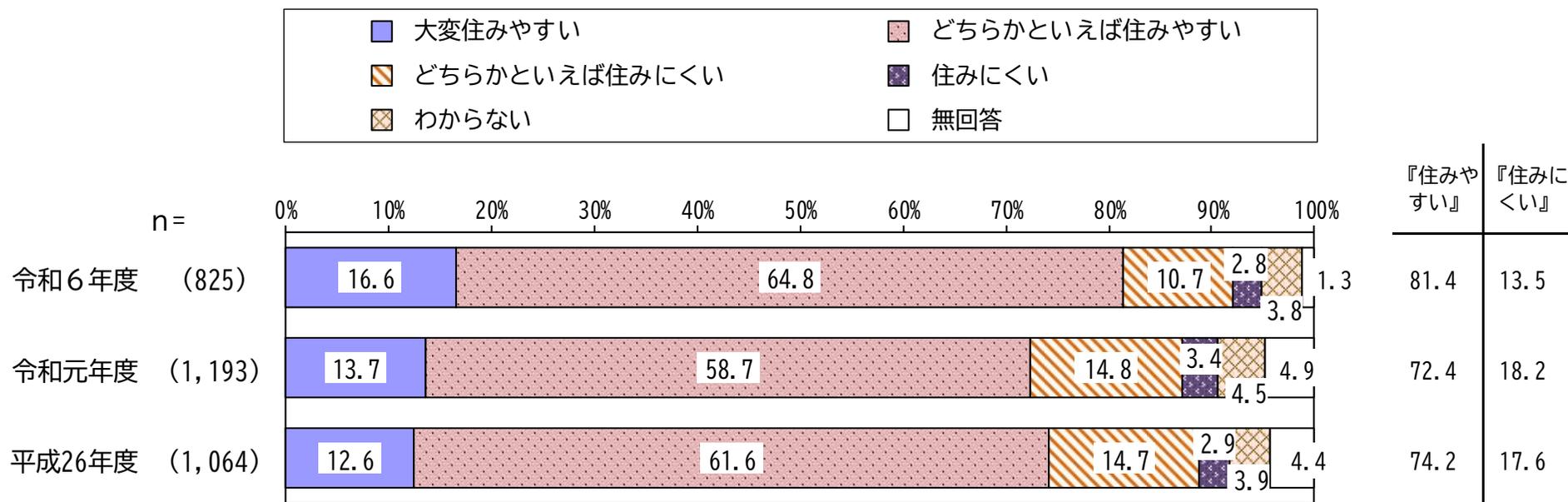
〈報告書P.2〉

1. 年齡

n=825



2. 町の住みやすさ



3. まちづくりに対する満足度と重要度

重要度と満足度が高いもの

鉄道の駅施設・運行ダイヤ
上水道、下水道等の生活排水処理対策
ごみの処理、地球温暖化対策
自然環境の豊かさと保全の取組
防犯や交通安全対策、消防・防災体制
小中学校等の教育環境
各種健診や相談等の保健事業、医療体制
子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉
生活保護、社会保障、町職員の接遇・窓口サービス

3. まちづくりに対する満足度と重要度

重要度は高いが満足度は低い

道路の整備（幹線道路）

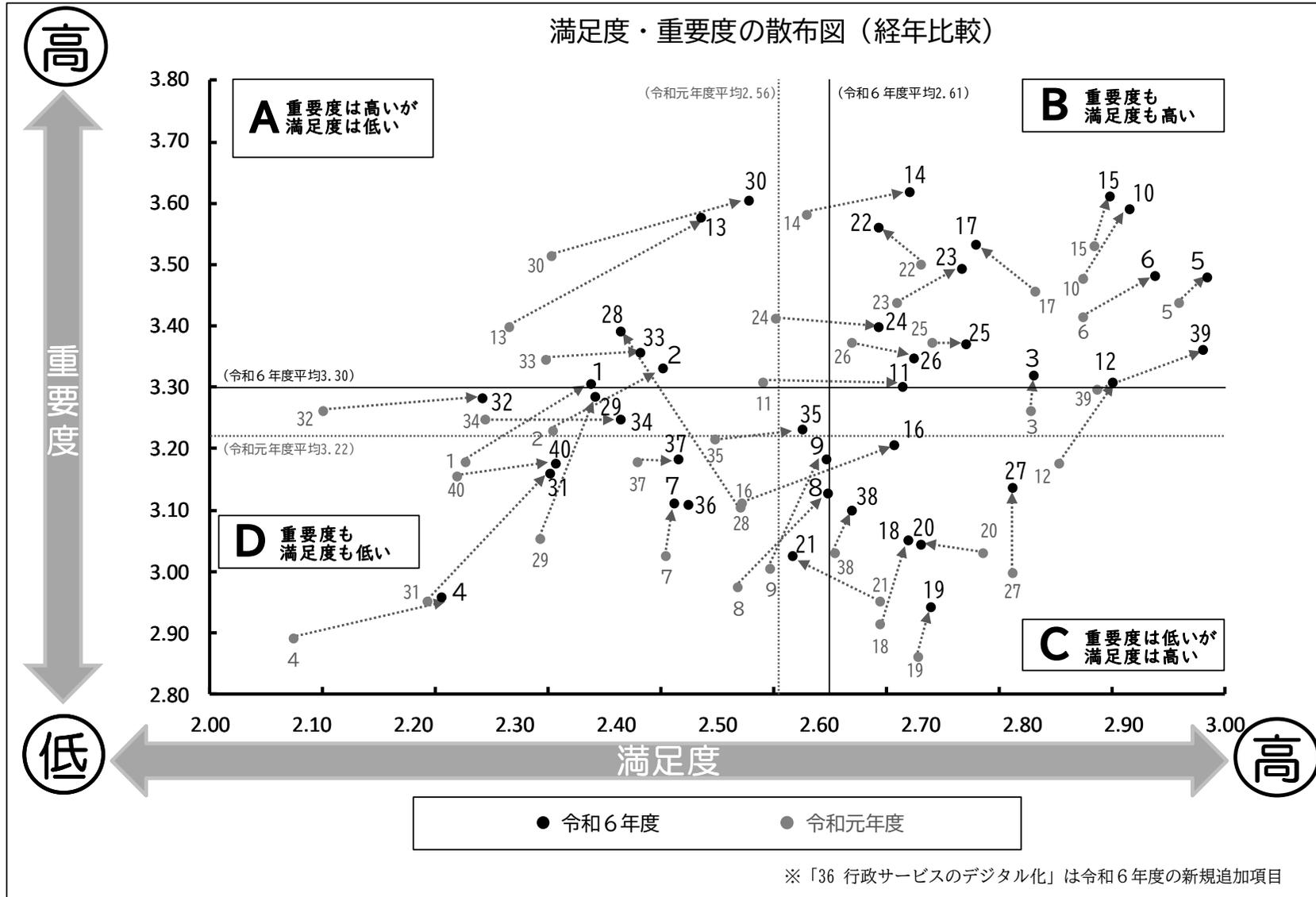
道路の整備（生活道路）

道路等の水はけ、冠水対策

農業の振興

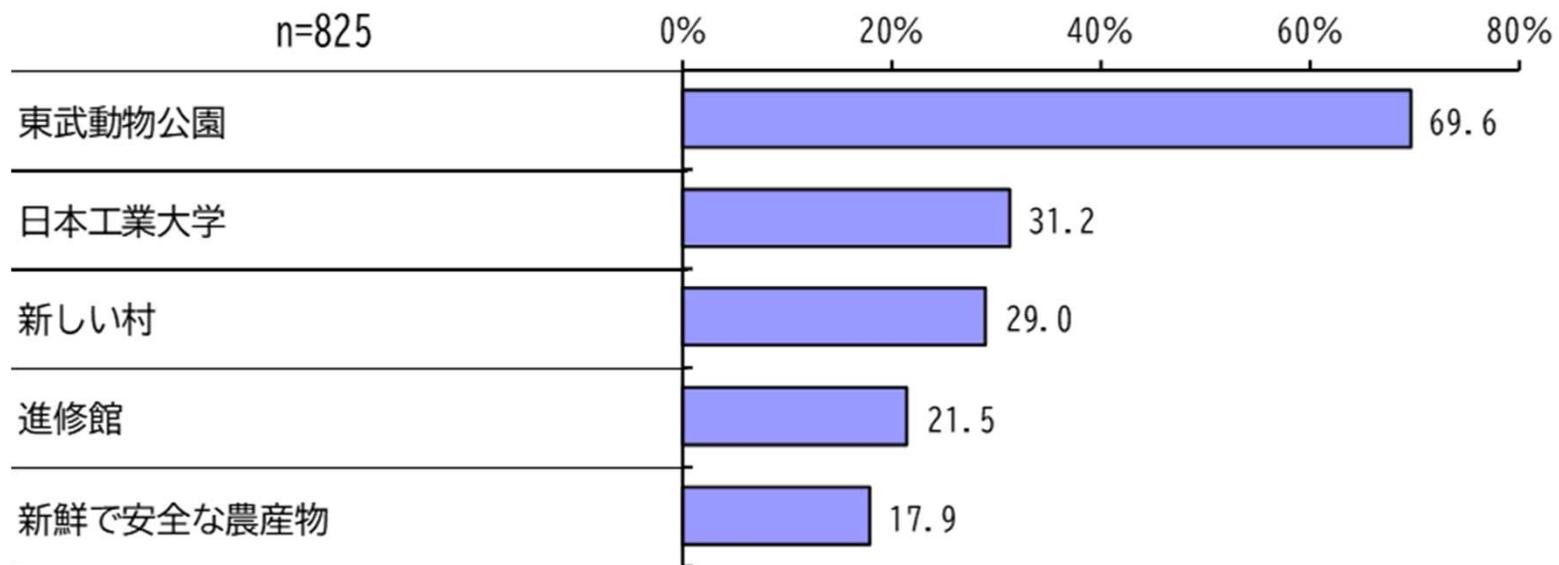
食料品等の日用品の買い物の便利さ

行財政改革の取組



項目
1 道路の整備（幹線道路）
2 道路の整備（生活道路）
3 鉄道の駅施設・運行ダイヤ
4 町内循環バスのルート・便数
5 上水道
6 下水道等の生活排水処理対策
7 公園・遊歩道の整備
8 市街地の街並み・景観の美しさ・快適性
9 住宅地の整備
10 ごみの処理
11 地球温暖化対策
12 自然環境の豊かさと保全の取組
13 道路等の水はけ、冠水対策
14 防犯や交通安全対策
15 消防・防災体制
16 消費者対策
17 小中学校等の教育環境
18 生涯学習の機会・内容
19 生涯学習活動や市民活動に関する情報
20 地区、自治会等の活動や近所づきあい
21 地区、自治会活動や市民活動に対する支援
22 各種健診や相談等の保健事業、医療体制
23 子育て支援
24 高齢者福祉
25 障がい者福祉
26 生活保護、社会保障
27 ボランティア等の地域福祉活動
28 農業の振興
29 商工業の振興
30 食料品等の日用品の買い物の便利さ
31 町の特性をいかした観光の振興
32 雇用機会の確保
33 行財政改革の取組
34 先進性・独自性を持ったまちづくり
35 行政からの情報提供
36 行政サービスのデジタル化
37 市民の意見反映・参加機会の確保
38 人権擁護、男女共同参画の取組
39 町職員の接遇・窓口サービス
40 行政の広域化

4. 町民が思う宮代町の特長・強み



※上位5位までを掲載。